

那須町「にこにこ子育てママメール」のご案内



安心して出産や子育てができるように、おなかの赤ちゃんやお子さんの成長の様子とあわせて、子育てに関するアドバイスやサービスなど、タイムリーな情報を配信しています。妊婦（と家族）の方や乳幼児（3歳未満）の保護者の方は、ぜひ登録してください。右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。一両日中に確認メールが届きますので、内容を確認のうえ登録してください。

〇にこママメール
(プレママ)



〇にこママメール
(子育て)



■問合せ こども未来課 こども政策係 72-6959

子どもたちの歯を守るために 「歯周病について」

塚原武典 先生



「歯周病はどんな病気？」

歯垢中の歯周病菌が出す毒によって引き起こされる感染症で、歯を支えている歯肉（歯ぐき）と歯槽骨（骨）が破壊され、進行すると歯が揺れて最後は抜ける病気です。歯肉だけに炎症があるものは「歯肉炎」、歯槽骨まで破壊されるものは「歯周炎」と言い、総じて歯周病と呼びます。歯周病は感染症ですので、人によってかかりやすさの程度にかなりの差があります。歯周病菌が出す毒に対する抵抗力の違いは人によっても差があり、その人個人の中でも年齢や体調の変化によって影響を受けます。

「乳幼児も歯周病になるの？」

歯が生えてくると歯の表面に細菌が付着します。色々なものを口にする度に細菌が入ってきますが、成人とは口の中の環境が大きく異なるため、歯周炎になることはまれです。しかし、清掃状態が悪い

と歯肉だけの炎症である歯肉炎が発症します。

「うちの子はむし歯がないから歯周病にもなりにくいのか？」

むし歯は、歯周病と同様に感染症の一つであり、むし歯菌が出す酸によって歯が溶けていく病気ですが、なりやすさを左右する要因が歯周病とは大きく異なります。

むし歯は糖分の入った飲食物をとる回数や歯の質、磨き残しの歯垢の量などさまざまな要因によってなりやすさが左右されます。炭酸飲料、柑橘類、酢など、酸が強いものはそれ自体が歯を溶かすので頻繁にとるとむし歯を進行させる大きな要因となります。虫歯を防ぐためには、色々なことに注意しなければなりません。

これに対して歯周病のなりやすさを左右する要因は、磨き残しの歯垢の量や、免疫力、全身疾患の種類などが挙げられます。歯周病を防ぐために一番効果のあることは、歯垢の量を減らすことです。つまり磨けていることなのです。

むし歯がなくても磨けていないのなら、その子は歯周病（歯肉炎）になる可能性が十分にあると言えます。

歯周病を予防するには、磨けていること（磨き残しが少ないこと）が大切です。これは磨いていることとは、全く違いますので十

分気を付けてください。

むし歯と歯周病では、予防の仕方が違いがありますが、磨けていることは、共通の予防方法であり、全身の健康にも大きく貢献することです。

笑顔いっぱい 健康フェスティバルを開催

6月18日、ゆめプラザ・那須で健康フェスティバルが開催されました。よい歯のコンクール表彰式、8020認定書授与式のほか、かわいい赤ちゃんのハイハイを競うコンクールなどがありました。



那須赤十字病院 第9回 がんの市民公開講座

▼日時 8月20日(土)午後2時～4時

▼場所 那須赤十字病院マイタウンホール

▼内容 「体験談「前向きに生きた妻」

那須赤十字病院名誉院長
介護老人保健施設椿寿荘医師
古泉 桂四郎 先生

○講演「自分らしく生き抜き、自分らしく旅立つためには」
日本尊厳死協会副理事長
埼玉社会保険病院名誉院長
鈴木 裕也 先生

▼参加費 無料

▼定員 150名

▼共催 那須赤十字病院がん患者と家族の会ピアサポート那須

▼申込み・問合せ
那須赤十字病院 がん対策推進室
☎0287-23-1122
FAX 0287-23-3004

子育て相談支援

子育て等に関わる悩み相談を子育て支援センター相談員が行います。常時子育てに関する相談は実施していますが、平日にお出かけできない方等お気軽にご利用ください。

▼日時 7月17日(日)午前9時30分～午後4時

▼場所 子育て支援センター

▼内容 子育て不安・子どもの発達に関すること等

▼問合せ 子育て支援センター
☎(71)1137

※別日のご希望があるときは、ご相談ください。